

## 平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

生徒一人ひとりの個性を伸ばし、グローバルな視点を持って高い志をはぐくみ、主体的に生きようとする「人生の物語を編める生徒」を育てる学校

- (1) 生徒の高い志をはぐくみ、希望する進路実現のための学力を育てる学校
- (2) 世界的な視野を持ち、多様な文化・価値観を持った人々を理解し、協働できる生徒を育てる学校
- (3) コミュニケーション力を身につけ、自分の言葉で自分の考えを表現できる生徒を育てる学校
- (4) 校訓である「自他敬愛」の心をはぐくみ、互いに支え励ましながら成長できる生徒を育てる学校
- (5) 地域に信頼され愛される学校の取組みを通して、社会的貢献ができる生徒を育てる学校

## 2 中期的目標

## 1 基礎学力を充実させ、高い志をはぐくみ、すべての生徒の第一志望進路の実現を図る

- (1) 普通科専門コース制の特色を生かした教育課程を編成し、生徒の学習意欲の向上を図る。
  - ア コース制の充実を図り、3年間を見通した学習指導及び進路指導計画を構築する。  
専門コースにおける希望する進路の実現達成率を2021年度には70%以上にする。(H30:67% H29:62%)
  - イ 進路行事を積極的に展開し、進路に関する意識向上と日々の学習意欲の向上を図る。  
学校教育自己診断における「進路行事が進路決定に役立つ」(生徒)の肯定率(H30年度80%)を2021年度には85%以上にする。(H30:80% H29:68% H28:69%)
- (2) 「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を重視した授業改善に取り組むとともに、希望する進路を切り拓く学力を育成する。
  - ア 生徒による授業評価の活用。授業の「めあて」と「振り返り」を全教科で実施し、授業力向上を図る。
  - イ 学力生活実態調査・基礎学力調査等を分析・活用し、生徒の希望する進路実現に相応しい学力養成に努める。
  - ウ 近隣中学校との相互授業見学及び研修会を始めとする中高接続を進め、生徒の「中学校での学び」をふまえた授業改善を図る。  
学校教育自己診断における「授業の内容をわかりやすく工夫」(生徒)の肯定率(H30年度68%)を2021年度には70%以上にする。(H30:68% H29:62% H28:57%)
- (3) ICT環境を学習及び教員の校務の効率化のツールとして最大限活用する。
  - ア ICT機器を活用した授業の実施を推進。  
学校教育自己診断における「授業でICT活用に取り組んでいる」(生徒)の肯定率(H30年度93%)90%超を維持する。(H30:93% H29:90% H28:84% H27:69%)
  - イ ICT機器の活用により校務の効率化を図り、生徒と向き合う時間を確保する。  
ストレスチェックによる「健康総合リスク」の値を、府立学校平均以下を継続する。(H30:84 H29:96)
- (4) 個別指導の充実と自己学習の支援
  - ア 支援の必要な生徒実態を把握し、教職員の共通理解を促進し、支援の充実を図る。
  - イ 進学及び授業補充講習を実施するとともに、自学自習のための支援体制を整備する。  
学校教育自己診断における「年度当初より自ら進んで学習するようになった」(生徒)の肯定率(H30年度59%)を2021年度には70%以上にする。(H30:59% H29:56%)

## 2 あらゆる教育活動で「21世紀型スキル」発現の機会をつくり、生徒の主体性・資質・能力を育成する。

- (1) 学校における教育活動のあらゆる面で、生徒の言語活動の充実を図る。
  - ア ICT活用及び協調学習(ペアワークやグループワーク)を通して、プレゼンテーション力と問題解決能力を育成する。  
「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」(生徒)の肯定率80%以上(H30年度より追加・H30:72%)
- (2) 多様性への理解をはぐくむ。
  - ア 英語コミュニケーション能力の向上。大阪府立大学留学生との交流等を企画・立案・実施する。  
実用英語検定受験者数(H30:157名 H29:109名)及び準2級合格者数(H30:11名 H29:9名)を2021年度にはそれぞれ300名及び50名以上にする。
- (3) 「総合的な探究の時間(学びに向かう探究学習)」の研究開発及び企画・立案を推進する。
  - ア 平成31年度入学生よりの「総合的な探究の時間」先行実施に係り、国研研究指定校として授業の研究・開発を推進するとともに全国に成果を発信する。  
・平成29・30年度入学生のGS(総合的な学習の時間)についても、「探究」に位置付けて授業の研究・開発を推進するとともに全国に成果を発信する。  
・「探究学習」の学びを教科にも取り入れる(教科横断的な学びも視野に！)
  - イ 探究学習の自己・他者及教員評価として、ルーブリックに基づいたパフォーマンス評価及び「e-Portfolio」評価の研究・開発を推進する。  
平成31年度には、「総合的な探究の時間」の3年間の授業計画及び評価法等を完成させる。  
**H31年度 学校経営推進費活用による「探究学習」の研究・開発** 国研「平成30年度教育課程研究指定校事業」【公募課題1】(総合的な学習の時間)

## 3 「自他敬愛」の心をはぐくみ、豊かな人間性を涵養する学校づくり

- (1) 「自他敬愛(自らに誇りをもち、自らを大切に。他者を尊重し、他者を思いやる)」の心を持ったグローバルリーダーを育成する。
  - ア 相手と協力し合い、友好的パートナーシップを築くことで、より「自他敬愛」の精神を育てる。「ピア・サポート」活動を一層、拡大充実させる。
- (2) 規範意識の向上(善悪の判断ができる人材及び感謝報恩の心をもった人材を育成)
  - ア 毎朝の立ち番指導及び通学指導を継続し、通学マナー及びあいさつ運動の向上を図るとともに、頭髪・服装・遅刻指導を推進する。
  - イ 急速に普及しているスマートフォンなどのSNS上の人権侵害防止についての取り組みを推進する。  
学校教育自己診断による「生活規律・学習規律の指導」(生徒)の肯定率(H30年度86%)を2021年度には90%以上にする。(H30:86% H29:86%)
- (3) 自主的活動ができる生徒集団の育成。
  - ア 生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動(生徒会行事・生徒会活動・部活動)できるよう学校全体で支援していく。  
部活動加入率(H30年度60%)を2021年度には65%以上にする。(H30:60% H29:56%)
  - イ 文化・芸術活動の振興、図書館利用・読書活動の充実、生徒による校内外の美化活動を推進する。

## 4 教職員の資質向上と学校の組織力向上に向けた取組み

- (1) 教科会議の充実・相互授業見学の充実・経験年数の少ない教員の研修の充実、個々の教職員の経験年数や適性に応じた役割分担による学校組織力の向上
- (2) 「働き方改革」を推進し、教職員の安全及び健康の確保、職場環境の改善を図る。
- (3) 開かれた学校づくりを推進し、生徒・保護者に信頼され、地域中学生に憧られる学校をめざす。
  - ア 個人情報の適正管理・学校会計事務の適正化に努める。
  - イ 学校説明会を積極的に実施し、本校の特色ある取組みをアピールする。ブログ及び学校メールマガジン(モズマガ)を活用して、最新の学校情報を発信する。
  - ウ 地域と連携した事業の展開を図り、地域とともに成長する学校  
教育自己診断による「ホームページは充実している」(保護者)の肯定率(H30年度74%)を2021年度には85%以上にする。(H30:74% H29:76%)  
教育自己診断による「メールマガジンは役に立っている」肯定率(保護者)の肯定率(H30年度81%)を2021年度には90%以上にする。(H30:81% H29:87%)

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [ 令和元年 12 月実施分 ]	学校運営協議会からの意見
<p><b>【学習指導等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT を活用した東百舌鳥 Style ( 授業の「めあて」・生徒の活動場面 ( グループワーク等の協調学習など ) ・「振り返り」を取り入れたアクティブ・ラーニング型授業 ) を推進している。さらに、国立教育政策研究所教育課程研究指定校事業「学びに向かう探究学習」では、「21 世紀型スキル」発現の機会を設定することで、そこではぐまれる生徒一人ひとりのコンピテンシーを形成的に評価する方法の研究開発に取り組んでいる。また、協調学習 ( グループ学習 ) の取組みも進めている。</li> <li>教員の授業での ICT 活用率 98% ( H30 : 98% )、生徒の ICT 活用取組みの肯定率 87% ( H30 : 93% )、保護者の ICT 活用取組みの肯定率 87% ( H30 : 89% ) はそれぞれ高く、「めあて、振り返りを取り入れた授業 ( 東百舌鳥 Style ) の教員の取組み率は 95% ( H30 ; 90% )、「少人数指導を取入れるなど ( グループワーク等 ) 指導方法の工夫・改善に努めている」の肯定的評価は 89% ( H30 ; 82% ) と高い水準にあるが、生徒の「授業内容がわかりやすく工夫している」の肯定的評価は 64% ( H30 ; 68% )、保護者のそれは 60% ( H30 ; 53% ) と、授業の満足度には課題が残っている。引き続き、「学習指導室」を中心に授業改善に取り組む。</li> <li>「学びに向かう探究学習」・東百舌鳥 Style・協調学習の成果もあり、「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」( 生徒 ) の肯定的評価は 78% ( H30 ; 72% )、特に「学びに向かう探究学習」当該学年の 2 年生は 88% と、高い水準にあった。一層、推進していきたい。</li> <li>生徒の高い志をはぐくみ、希望する進路実現のための学力を育てる学校をめざしてきたが、3 年生の「今チャレンジしている進路は第一希望である」の肯定率は 90% ( H30 ; 80% ) であった。3 年間を見通した学習指導及び進路指導計画の構築を進め、さらに、生徒が高い志をもって第一希望の進路を実現できる学校にしていきたい。</li> </ul> <p><b>【生徒指導等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「学校は生活規律や学習環境などの指導に力を入れている」の肯定的評価は、生徒 87% ( H30 ; 82% )、保護者 88% ( H30 ; 85% ) と、教職員との信頼関係にもとづいた教育活動ができています。</li> <li>学校行事に対する肯定的評価は、生徒 86% ( H30 ; 82% )、保護者 90% ( H30 ; 86% ) と、教科外教育活動について高い評価を得ている。</li> <li>他方、「学校に行くのが楽しい」の肯定的評価は、生徒 83% ( H30 ; 80% )、保護者 81% ( H30 ; 78% ) で、2 割近い否定的評価があり、取組内容の質を高めていくように努めていく。</li> </ul> <p><b>【学校運営】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「校長は教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしている」の肯定的評価 83% ( H30 ; 75% ) と教職員から高い評価を受け一方、「適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある」の肯定的評価 73% ( H30 ; 67% )、「学校運営に教職員の意見が反映されている」の肯定的評価 66% ( H30 ; 70% ) に対しては、学習指導室・トータルプラン推進室の取組みを、限られた教員だけではなく総ての教員が参画できるように努める。</li> <li>保護者の「ホームページは充実している」の肯定的評価が 78% ( H30 ; 74% ) であることに対しては、「校長ブログ」の日々更新で改善を図っているところである。</li> <li>保護者の「メールマガジンは役に立っている」の肯定的評価が 83% ( H30 ; 81% ) であり、引き続き適切な情報提供に努める。</li> </ul>	<p><b>【第 1 回 令和元年 6 月 17 日 ( 月 )】平成 31 年度学校経営計画について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 31 年度の学校経営計画における「めざす学校像」・「中期的目標」に関して満場一致で承認された。</li> <li>各学年で進めている探究学習と、特に第 2 学年で取り組んでいる国立教育政策研究所教育課程研究指定校事業「学びに向かう探究学習」の説明を行い、委員からも本校の探究学習に対する理解を得られた。</li> <li>3 つのポリシー ( ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー ) について、その具体的な内容に関して質問があった。学校経営計画の「めざす学校像」及び「中期目標」を基に設定していることを説明し、委員の理解を得た。</li> <li>探究学習における SDGs を題材とした探究のアプローチについて、今話題になっているテーマ ( マイクロプラスチック等 ) を取り上げる事で、より生徒の学習意欲が高まるのではないかと助言を頂いた。</li> <li>18 歳選挙権に関して、本校生徒に対して関連している授業について質問があり、「政治的教養をはぐくむ教育」で、堺市中区の選挙管理委員会より講師を招き講演会を予定している等の取組みを伝え理解を得た。</li> </ul> <p><b>【第 2 回 令和元年 11 月 13 日 ( 水 )】授業見学・授業改善に向けた提言、第 1 回生徒授業アンケート結果について、学校教育目標 ( 自己評価 ) の進捗状況について、令和 2 年度使用教科用図書採択について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 2 年度使用教科用図書の報告に関して満場一致で承認された。</li> <li>授業における教員と生徒の関係は非常に良好であった。生徒同士が適切に相互評価できており、選択授業は、生徒が本当に楽しそうに意欲的に取り組んでいた。</li> <li>探究学習について、発表のサマリーを英文で作成し、学校の公式 WEB ページで学校の取組みをグローバルに発信してください。</li> <li>授業のめあてやポイントの提示では、板書のように消す必要がないプロジェクターの長所を活かしていた。</li> <li>3 年生の選択科目の授業では、一所懸命で楽しそうに取り組んでいるところが印象的だった。</li> <li>ノートをきれいに取っていた点や板書で数式を色分けしていた点に感心した。</li> <li>保育の授業では作成した絵本にメッセージや気づきが織り込まれており、お互いに評価することで学び合い、大きな成果をあげていた。</li> <li>( 事務局 ) 令和 2 年 2 月 3 日 ( 月 ) 3 ~ 6 限に 1・2 年生が総合的な探究の時間の研究成果について、ポスターセッションで発表会を開催する。是非、参加していただきたい。</li> <li>大阪府立大学教育福祉学類のトップ 3 名は A0 で合格している。探究の時間では地域などの課題を見つけ、取組みを深めていただきたい。</li> </ul> <p><b>【第 3 回 令和 2 年 2 月 26 日 ( 水 ) 実施】令和 2 年度学校経営計画・めざす学校像・中期的目標の承認、令和元年度学校教育自己診断結果、1 年間のまとめ、提言</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和 2 年度学校経営計画「めざす学校像」・「中期的目標」について校長より説明し、満場一致で承認された。</li> <li>SDGs、ESD の学習を通して、その組織全体が SDGs や ESD について理解を深められて良い状態にあると思う。</li> <li>「学びに向かう探究学習」ポスターセッションを紹介したビデオで、男子生徒が元気に見えた。学びが自由になると生徒が活気づく。</li> <li>ポスターの中の単語が学術的・高度なものが多かった、先生方の日ごろの指導が行き届いていると見える。</li> <li>現状をしっかりと踏まえながら、大きな目標に進んでいるのが見えた。</li> <li>手段としての ICT から、わかる ICT そして世界の課題につながるツールになってほしい。</li> <li>遅刻をしても欠席が減っているのはよい傾向であると思う。</li> <li>減学級で、この 3 年間で 6 人減少しているのに、学校行事は減っていない。また教員による校門・登校時の立ち番もあり、先生方の負担が大きくなるようにしてほしい。</li> <li>東百舌鳥高校をよく知らない生徒が多いので、東百舌鳥中学の生徒に東百舌鳥高校の授業を受ける機会があれば魅力的である。</li> <li>アルバイトより部活がしたいとか、何を楽しみに学校をすごすのかを大切に東百舌鳥に来たいと思える学校にしてほしい。</li> </ul>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
<p>1 基礎学力を充実させ、高い志を高くくみ、すべての生徒の第一志望進路の実現を図る</p>	<p>(1) 普通科専門コース制の特色を生かし、生徒の学習意欲の向上を図る。 ア コース制の充実を図り、3年間を見通した学習指導及び進路指導計画を構築する。 イ 進路行事の積極的展開</p> <p>(2) 授業改善と希望する進路を切り拓く学力の育成 ア 授業アンケート結果等の活用、授業の「めあて」「振り返り」の全教科実施 イ 進路実現に相応しい学力の養成 ウ 近隣中学校との相互授業見学及び研修会</p> <p>(3) ICT環境の活用</p> <p>(4) 個別指導の充実と自己学習の支援 ア 支援の必要な生徒実態の把握 イ 自学自習のための支援体制の整備</p>	<p>(1) ア・学習指導室を中心に、3年間を見通した学習指導及び進路指導計画を構築する。 ・コース制の充実(コース会議・ガイダンス・相談会・講演会・フィールドワーク等) イ・学習指導室を中心に、3年間を見据えたキャリア教育の充実を図る。 ・大学見学や先輩の話や聞き会、進路講演会等を通して、生徒が自己の将来像を描き、主体的に学ぶ態度を育てる。</p> <p>(2) ア・授業アンケート結果等を参考に、自己・教科の振り返りを行い、授業改善に努める。 ・授業の「めあて」と「振り返り」を全教科で実施し、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業改善を推進する。 ・外部講師による講習会の参加、校内外の優れた実践事例の研修等を通じ、指導法を研究し、共有する。 イ・志望校検討会・コース選択検討会等を通じ、効果的な進路指導を行う。 ウ・近隣中学校との相互授業見学及び本校でのICTを活用した授業の中学校教員向け研修会の実施</p> <p>(3) ア・ICT機器を活用した授業の実施を推進</p> <p>イ・ICT機器を活用して校務の効率化を図り、生徒と向き合う時間を確保</p> <p>(4) ア・高校生活支援カードを活用し、適切な指導・支援の充実を図る。 ・教育相談・支援委員会による教育相談体制の充実 ・外部講師を招き人権諸課題の理解を深める。 イ・全学年を通じて早朝、放課後、土曜、夏季、センター講習等に取り組み、生徒の学力向上に努める。大阪府立大学ボランティアセンターとの連携。</p>	<p>(1) ア・専門コースにおける希望する進路の実現達成率 70%以上(H30:67% H29:62%)</p> <p>イ・進路行事に対する肯定率 82%以上 (H30:80% H29:68%) ・進路決定の際の情報提供に対する肯定率 86%以上 (H30:84% H29:79%)</p> <p>(2) ア・授業満足度 70%以上 (H30:68% H29:62% H28:57% H27:49%) ・「めあて、振り返りを取入れた授業」の取組み率 90%超の維持 (H30:90% H29:86%)</p> <p>イ・すべての外部模試の結果報告会及び3年生の志望校検討会を実施する。 ・1,2年生のコース選択検討会を実施する。 ウ・中高の相互授業見学会及び研修会を1回以上実施。</p> <p>(3) ア・「授業でICT活用に取り組んでいる」(生徒)の肯定率 90%超の維持。(H30:93% H29:90% H28:84%) ・ICT機器を使った授業での活用率 95%超の維持 (H30:96% H29:96% H28:95%)</p> <p>イ・ICT機器を使った研究授業を年20回以上、研修会を年15回以上開催(H30:23回・10回 H29:19回・14回)</p> <p>(4) ア・共通理解のための研修を年2回実施 ・「教育相談」(生徒/保護者)の肯定率 70/80%以上 (H30:67%/78% H29:68%/78% H28:64%/75%)</p> <p>イ・講習、補習の受講者数のべ500人以上 (H30:562人 H29:449人 H28:385人) ・「年度当初より自ら進んで学習するようになった」の肯定率 70%以上(H30:59% H29:56%)</p>	<p>(1) ア・専門コースにおける希望する進路の実現達成率 92%(H30:67%)で目標以上。( )</p> <p>イ・進路行事に対する肯定率 85%(H30:80%)で目標以上。( ) ・進路情報に対する肯定率 85%(H30:84%)で、目標に達していない。( )</p> <p>(2) ア・授業満足度 64%(H30:68%)で、目標に達していない。( ) ・「めあて、振り返りを取入れた授業」の取組み率 95%(H30:90%)で、目標以上。( ) イ・すべての外部模試の結果報告会及び3年生の志望校検討会を行った。(○) ・1,2年生のコース選択検討会を行った。(○) ウ・中高の相互授業見学会及び研修会を計画したが実施できなかった。( )</p> <p>(3) ア・「授業でICT活用に取り組んでいる」(生徒)の肯定率 87%(H30:93%)で、目標に達していない。( ) ・ICT機器を使った授業での活用率 98%(H30:98%)で、目標以上。( ) 生徒との捉え方の違いを探る。 イ・ICT機器を使った研究授業を21回、研修会を12回実施で、目標に達していない。( )</p> <p>(4) ア・共通理解のための研修を年2回実施 ・「教育相談」(生徒/保護者)の肯定率 71/79%(H30:69/78%)で、目標に達していない。( ) イ・講習、補習の受講者数のべ472人(H30:562人)前年比16%減で、目標に達していない。( ) ・「年度当初より自ら進んで学習するようになった」(生徒)の肯定率 63%(H30:59%)と昨年より増加したが、目標に達していない。( )</p>
<p>2 「21世紀型スキル」発現の機会をつくり、生徒の主体性・資質・能力を育成する</p>	<p>(1) 言語活動の充実 ア プレゼンテーション力・問題解決能力の育成</p> <p>(2) 多様性への理解 ア 英語コミュニケーション能力の向上。大阪府立大学留学生との交流等</p> <p>(3) 「総合的な探究の時間(学びに向かう探究学習)」の研究開発及び企画・立案を推進する。 ア 「探究学習」の研究・開発・実践・成果の発信 イ 評価法の研究・開発</p>	<p>(1) ア・授業で、プレゼンテーション力・問題解決能力を発現する機会をつくる。</p> <p>(2) ア・実用英語検定・英語学力調査の受験を奨励する。  ・オーストラリア語学研修の充実を図る。  ・大阪府立大学留学生との交流等を企画・立案・実施する。</p> <p>(3) 「<u>学校経営推進費</u>」・「国研指定校」事業を活用し、ア・トータルプラン推進室を中心に、外部講師による研修会、先進校視察等により国研指定校として「総合的な探究の時間」の研究・開発・実践を推進するとともに全国に成果を発信する。さらに、「探究学習」の学びを教科にも取り入れる(教科横断的な学びも視野に!) ・探究学習の関心領域の仮説を、コース会議と連携して設定する。 イ・先進校視察等により国研指定校事業「学びに向かう探究学習」の評価法の研究・開発・実践を進める。</p>	<p>(1) ア・「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」(生徒)の肯定率 75%以上(H30年度より追加・H30:72%)</p> <p>(2) ア・英検受験者数 150人以上、英検準2級合格者 15人以上 (H30:157人11名 H29:109人、9名)</p> <p>・Global Assessment 調査・Interview Test 調査を実施し、語学研修の充実を、生徒の変容により測定する。</p> <p>・学年単位で留学生との交流を行う。</p> <p>(3) (「<u>学校経営推進費</u>」・「国研指定校」事業) ア・イ・国研指定校事業「学びに向かう探究学習」のモデルケース(評価法も含む)を研究・開発・実践し、校内研修を実施するとともに、校外に向けて成果を発表する。コース制の充実と関連させた「探究」の取組を行う。 ・「探究学習」の学びを教科にも取り入れる(教科横断的な学びも視野に!)</p>	<p>(1) ア・「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」(生徒)の肯定率 78%、特に2年生は88%で、目標以上( )</p> <p>(2) ア・英検受験者数、英検準2級合格者数 123人、12名(H30:157人、11名)で、目標に達していない。( ) 英検2級合格者は3名(受験22名)</p> <p>・語学研修参加者 8名(H30:4名) ・研修前後で、要素(語学・コミュニケーション)4/8名、要素(主体性・積極性・チャレンジ精神・協調性・責任感等)3/8名、要素(異文化に対する日本人のアイデンティティ)6/8名の伸びが、英検1BAテストでは、6/8名の伸びがあった、目標以上( )  ・学年単位で留学生との交流を行った。また、多文化共生・多様性の理解の取組みを進め、JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2019で「佳作」入賞1名及び「学校賞」を受賞した。( )</p> <p>(3) (「国研指定校」事業) ア・イ・2年生「学びに向かう探究学習」の取組みに対して、国研教科調査官より「全国的に見てもかなり進んだものである」と評価をいただいた。( ) ・今年度も全国からの視察の受入を積極的に実施し、成果の公表に努めた。( ) ・「学びに向かう探究学習」において、国研教科調査官より、「関連単元配列表」を活用した総合的な学習(探究)の時間と各教科・科目等の相関を意識したことで、学校全体で育てたい資質・能力に対応し、組織的かつ計画的な教育活動の質の向上に向けたカリキュラム・マネジメントが実現した。加えて、新教育課程に基づいた東百舌鳥高校の3つのポリシーが意識されるようになり、カリキュラムマップの作成、新教育課程編成へと取組みが進んだ、と評価をいただいた。( ) ・「関連単元配列表」を活用し、教科横断的な学びについて各教科・コースで検討した。(○)</p>

府立東百舌鳥高等学校

<p>3 「自他敬愛」の心をはぐくみ、豊かな人間性を涵養する学校づくり</p>	<p>(1) 「自他敬愛」の心を持ったグローバルリーダーの育成 ア 「自他敬愛」の精神の育成。「ピア・サポート」活動の拡大充実</p> <p>(2) 規範意識の向上 ア 毎朝の立ち番指導 通学指導の継続 通学マナー・あいさつ運動の向上 頭髪・服装・遅刻指導の推進。 イ スマホに関する指導</p> <p>(3) 自主的活動ができる生徒集団の育成 ア 生徒の主体的活動を学校全体で支援。 イ 文化・芸術の振興、図書館利用・生徒による校外外美化活動の推進。</p>	<p>(1) ア・「ピア・サポート」で培った、関係づくりを生かし、多文化共生の取組みを推進する。</p> <p>(2) ア・毎朝の立ち番指導及び通学マナー指導の継続。 ・生徒及び教職員が率先して挨拶を励行する。 イ・1年生に対して、「スマートフォンによる人権侵害」についての取組を推進する。 ・外部の人材派遣による人権研修の開催</p> <p>(3) ア・生徒会行事を生徒が自主的に運営する。 ・リーダー研修、ピア・サポート研修の充実 ・生徒(生徒会役員・部活動部員)が運営する学校説明会。 ・中学生招待大会の実施(バスケットボール・サッカー) ・全国大会出場に向けた支援</p> <p>イ・生徒会が運営する部活動発表の機会や場の設定。 ・生徒の読書環境の充実を図る。 ・ビブリオバトル等の読書活動の取組みを推進する。 ・校内及び地域美化活動や東百舌鳥「花プロジェクト」、東百舌鳥「ピカピカ隊」の実施。</p>	<p>(1) ア・「学校に行くのが楽しい」(生徒/保護者)の肯定率 85%以上 (H30:80/78% H29:77/78% H28:77/77%)</p> <p>(2) ア・通学マナー指導を1週間単位で年5回実施 ・「あいさつ」(生徒)の肯定率 80%以上 (H30:78% H29:73% H28:65%) ・遅刻総数前年度比 10%減 (H30:3296回 H29:3816回 H28:4601回)</p> <p>(3) ア・各行事後のアンケートにおける満足度 85%以上 (H30:82% H29:84% H28:80%) ・リーダー研修年4回、ピア・サポート研修年10回実施 ・中学生招待「東百舌鳥杯」大会を、男女バスケットボール、女子バレーボール、サッカーでのべ28校の参加で実施する。</p> <p>イ・新入生の部活動加入率 80%以上 (H30:79% H29:74% H28:57%) ・生徒向け貸出冊数の増加 (H30:1008冊 H29:1530冊)</p>	<p>(1) ア・「学校に行くのが楽しい」(生徒/保護者)の肯定率 83/81% (H30:80/78%)で、目標に達していない。( )</p> <p>(2) ア・通学マナー指導を1週間単位で年5回実施した。( ) ・「あいさつ」(生徒)の肯定率 80% (H30:78%)で、概ね目標通り。( ) ・遅刻総数は3440回で、前年度比4%増で、目標に達していない。( )</p> <p>(3) ア・各行事後のアンケートにおける満足度 91% (H30:82%)で、目標以上。( ) ・リーダー研修年4回、ピア・サポート研修を年10回実施した。( ) ・中学生招待「東百舌鳥杯」大会の実施 男女バスケットボール、女子バレーボールで実施し、のべ26校の参加で、目標以上。( ) (R01:26校 H30:27校) 3月実施予定のサッカーは中止。</p> <p>イ・新入生の部活動加入率 75% (H30:79%)で、目標に達していない。( ) ・生徒向け貸出冊数 1060冊 (H30:1008冊)で、増加した。( )</p>
<p>4 教職員の資質向上と学校の組織力向上に向けた取組み</p>	<p>(1) 教科会議・相互授業見学の充実、経験年数の少ない教員の研修の充実、学校組織力の向上。</p> <p>(2) 「働き方改革」を推進し、教職員の安全及び健康の確保、職場環境の改善</p> <p>(3) 開かれた学校づくり ア 個人情報管理の適正な管理 ・学校会計事務の適正化 イ 学校説明会の充実 ・ブログ・モズマガによる学校情報の発信</p> <p>ウ 地域と連携した事業の展開、地域とともに成長する学校づくり</p>	<p>(1) 教科会議を授業力向上及び生徒の希望する進路実現のための研修の場として位置付けるとともに、積極的に研究授業を行うことで、教科としての授業力向上を図る。 ・テーマを立てた相互授業見学や外部の教員研修・講習会に参加する等、教員の授業力向上を図る。 ・校内初任者研修を週1回行うことで、教員としての資質・能力をはぐくみ、チーム東百舌鳥で初任者を支える。 ・個々の教職員の経験年数や適性に応じた役割分担を行うことで、チーム東百舌鳥で学校運営を推進する。</p> <p>(2) 安全衛生委員会と連携し、教職員の安全及び健康の保持、ならびに快適な職場環境の整備・促進に努める。</p> <p>(3) ア 規則・マニュアルに基づき適正に処理し、生徒購入物品の代金引換や後払いの徹底に努める。 イ オープンスクール・体験入学の充実を図る。校長室ブログ・進路ブログ・生徒会ブログ・部活動ブログ・図書館ブログ等の積極的な更新を推進する。 ・各学年の様子を「モズマガ」として効果的に発信する。</p> <p>ウ 地域と連携した事業を展開する。 「子育てひろば・東もず」との連携を一層進める。 ・「花プロジェクト」を堺市公園協会と連携して実施する。 ・地域の方を対象に「デジタルカメラ講習会」「歴史探訪」を実施する。</p>	<p>(1) 各教科において、指導方法の工夫・改善に努めているの肯定率 85%以上 (H30:82% H29:73% H28:63%) ・全教科で研究授業年1回以上を維持。(H30:1回) ・相互授業見学教員一人当たり平均3回以上。(H30:2回) ・校内初任研を週1回実施。 ・「適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取組める環境にある」の肯定的評価 70%以上 (H30:67% H29:61% H28:49%)</p> <p>(2) ストレスチェックによる「健康総合リスク」の値を、府立学校平均以下を高い水準で継続 (H30:84% H29:96%) ・気軽に相談しあえる人間関係ができてきているの肯定率 85%以上 (H30:79% H29:82% H28:75%)</p> <p>(3) ア・学校会計事務の適正化に係る自己診断 イ オープンスクール・体験入学等の参加者数の増加 (H30:のべ1603人 H29:のべ1767人) ・入学生調査でオープンスクール・体験入学の参加経験者の割合を65%以上 (H30:63%) ・各ブログの内容を充実させ、更新頻度をあげる。 H30年度:校長ブログ319回、進路ブログ10回・生徒会ブログ13回・図書館ブログ4回の更新 ・「ホームページは充実している」(保護者)の肯定率 (H30:74%) 80%以上 ・1週に1回の割合で発信を維持 ・「メールマガジンは役に立っている」肯定率(保護者)の肯定率 (H30:81%) 85%以上</p> <p>ウ 地域の行事等交流参加生徒のべ450人以上 (H30:のべ431人)</p>	<p>(1) 各教科において、指導方法の工夫・改善に努めているの肯定率 89% (H30:82%)で、目標以上。( ) ・全教科で研究授業を1回実施した。( ) ・相互授業見学教員一人当たり平均3回以上実施した。( ) ・校内初任研を週1回実施した。( ) ・教職員が意欲的に取組める環境の肯定的評価 73% (H30:67%)で、目標以上。( )</p> <p>(2) ストレスチェックによる健康総合リスクは84(府立学校101)府立学校でリスク1上昇も高水準を維持できているので、目標以上。( ) ・気軽に相談しあえる人間関係ができてきているの肯定率 83% (H30:79%)で、目標に達していない。( )</p> <p>(3) ア・学校会計事務の適正化に努めた。( ) イ オープンスクール・体験入学等の参加者数のべ2027人で、前年比26%増 (H30:1603人)で、計画以上 ( ) ・新入生の、オープンスクール・体験入学の参加経験者の割合 65% (H30:63%)で、概ね目標通り。( ) ・各ブログの更新頻度をあげる 2月末現在、校長ブログ312回、進路ブログ14回・生徒会ブログ11回・図書館ブログ4回の更新で概ね目標通り。( ) ・「ホームページは充実している」(保護者)の肯定率 78% (H30:74%)で、目標に達していない。( ) ・1週に1回の割合で発信を維持した。( ) ・「メールマガジンは役に立っている」肯定率(保護者)の肯定率 83% (H30:81%)で、目標に達していない。( )</p> <p>ウ 地域の行事等交流参加生徒のべ488人 (H30:431人)で、目標以上 ( )</p>